**「工業部会視察研修報告」**

平成25年10月8(火)に、工業部会視察研修を実施しました。会長、部会長以下役員、工業部会員(事務局含む)及び真庭市長、真庭市職員の方々を含む27名で、太田真庭市長のご紹介により、京都市右京区の株式会社最上インクスと、同じく京都市南区の株式会社堀場製作所に伺いました。

株式会社最上インクスは、精密薄板試作加工の会社であり、代表取締役会長　鈴木三朗氏より、製造業が単なる下請け加工会社ではなく自立して製品を作り社員自ら改善案を提案しメーカ―とパートナ―とになる事を提唱し、仕事を通じて、人が人として成長するという基本理念での会社運営及び、鈴木会長が中心となり、京都を一大試作の集積地にと、ものづくりを次世代に繋げていくための、京都試作ネット構想などのお話を聞きした後、工場内を2班に分かれて見学させて頂きました。

株式会社堀場製作所は、国際的な計測機器メ―カ―であり、排気ガス測定装置は世界シェア８割を占める会社で、創業者で最高顧問の堀場雅夫氏より、生まれ育った京都を愛し大切に思い、「おもしろおかしく」を社是として、全社一丸となりベンチャ―ビジネスのモデルともいえる企業を作りあげ、常に、技術業界をリードし、社員の声を聞き、好きな事を一生懸命やれば世の中の役に立ち自分も幸せになれるとの信条などをお聞きした後、工場内2班に分かれて見学致しました。

両社ともに、ものづくりの技術力もさることながら゛技術　゛より゛人゛と言われるだけあり、お二人の人づくりのお話には、参加された方々から非常に感銘をうけたと言われていました。

有意義な研修を無事終了することができました。この研修にご協力をいただいた関係者皆様に感謝申し上げます。